

# 景況調査 結果報告 Vol. 14～アンケート期間 R1. 10月-12月～

今回、第14回目となる景況調査の報告をします。今回は「業況」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

## 景況調査（業況判断DI結果）全国版

	7-9月	10-12月	前期差
製造業	▲17.2	▲22.4	▲5.2
建設業	▲0.6	▲5.5	▲4.9
卸売業	▲17.4	▲22.7	▲5.3
小売業	▲26.6	▲33.1	▲6.5
サービス業	▲14.9	▲17.3	▲2.4

## 景況調査（業況DI結果）鳥栖版

	7-9月	10-12月	前期差
製造業	33.3	▲25.0	▲58.3
建設業	0	▲50.0	▲50.0
卸売業	0	▲33.3	▲33.3
小売業	0	▲33.3	▲33.3
サービス業	▲50.0	▲22.2	27.8

### 注目ポイント

全産業の業況DI値は4期連続してマイナス幅が拡大しました。製造業では6期連続してマイナス幅が拡大しています。

### 注目ポイント

卸売業、製造業、建設業、小売業は前期よりDI値がマイナスに転じています。サービス業は前期から27.8とプラスになっています。

### 景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 令和元年10月～12月
  - ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 30事業所
  - ◆業種 製造5、建設5、卸売3、小売7  
サービス10 計30事業所
- ※小規模事業とは、商業・サービス業では従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

### DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

**DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)**

《経営力アップのために！！》

当初HPに「経営者の教訓」というテーマで

【商業界 2020 2月号】を参照記事として掲載しております。  
大企業経営者の言葉から経営のヒントが見つかるかもしれません。  
是非ご覧下さい！！

